



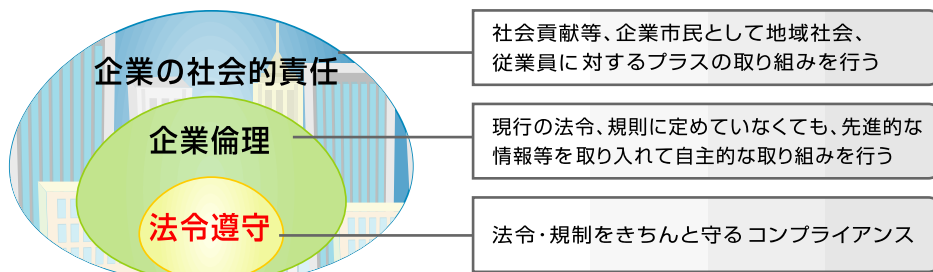
シーレックスグループでは、役員および従業員一人ひとりがコンプライアンスの精神を持ち、社会から信頼され、必要とされる企業を目指して事業活動を進めています。

## ～社会から信頼される企業を目指して～

シーレックスでは、コンプライアンスを単なる法令遵守ではなく、企業倫理や社内規則、規程まで含めた規範の遵守と位置づけています。2004年に制定した「新創業宣言」には行動基準10ヶ条、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、役員および従業員一人ひとりが自己規律をもって、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と浸透を図っております。

### シーレックスグループ 「倫理綱領」

私たちシーレックスグループは、公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって有用な存在でなければならない。そのため経営の根幹となるコンプライアンス(倫理・法令の遵守)の基本を、グループで共有し意識し徹底するために、「シーレックスグループ倫理綱領」を定め、コンプライアンスの徹底に取り組めます。



### 《顧客、取引先、他社、社会との関係》

#### 1. 法令、社内規則、方針の遵守

私たちシーレックスの役員、従業員は、自らの業務に関連する全ての法令、規則及び社内規則、方針を遵守し、また、自らの業務に適用される法令、規則及び社内規則、方針上の要請を確認し、理解することは、シーレックス取締役、役員、従業員の責任です。

#### 2. 消費者・顧客の信頼を獲得する

私たちは、常に顧客の満足が得られる信頼性の高い製品とサービスをタイムリーに提供します。そのために、常に品質の継続的改善に努めます。

#### 3. 取引先、協力会社との信頼構築

私たちは、公明正大、自由な競争のもとに、購入先の選定については合理的な判断を行い、購入先や協力会社とは誠実な取引関係を継続して高い信頼を得られるように努めます。

#### 4. 会社情報・製品情報の保全

私たちは、顧客の情報、製品に係わる情報を適正に管理し、目的以外の使用はしません。

#### 5. 接待、贈答等

私たちは、取引先と健全な関係を築き、社会通念を超える接待、贈答の收受はしません。

#### 6. 広告・宣伝等

私たちは、広告・宣伝等の活動で事実と反する表示・表現や誤解を与えるおそれのある表示・表現は行わないよう努めます。

#### 7. 地域社会との共生

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行ないます。

#### 8. 環境との共生

私たちは、環境保護を尊重し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理など環境保護活動を自主的、積極的に行うとともに環境配慮型商品の開発を行います。

#### 9. 反社会的勢力との対決

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体の介入は断固として排除します。またどのような名目であっても、いかなる利益供与も行わず、警察等の関係行政と密接に連携し、協力します。

#### 10. 関係官庁、政治家との関係

私たちは、政治、行政とは透明度の高い健全な関係を構築します。

## 《従業員との関係》

### 1 .人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、差別的取扱を排除します。また男女共同参画社会の実現に努めます。

### 2 .プライバシーの保護

私たちは、プライバシーを尊重し、従業員の個人情報の適正な保護に努めます。

### 3 .ハラスメントの排除

私たちは、いわゆるハラスメント(嫌がらせ)につながる行為を排除し、公正で明るい職場づくりに努めます。

### 4 .政治・宗教活動の禁止

私たちは、職場において、政治、宗教等の個人的な活動は行いません。

### 5 .勧誘活動の禁止

私たちは、職場において、個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動は行いません。

### 6 .会社財産の適正管理・使用

私たちは、会社の財産を私的な目的で使用しません。

### 7 .健康的な職場環境の維持

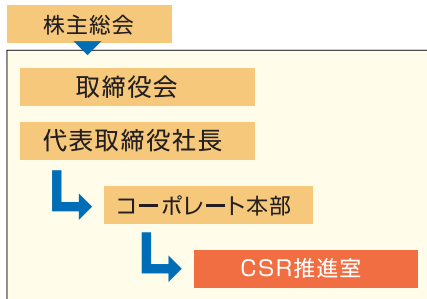
私たちは、健康的で安全で働きやすくかつ生産的な職場環境づくりを推進し、従業員の福祉の充実に努めていきます。

### 8 .正しい報告

私たちは、事実に基づく正確な記録と報告を行います。

## コンプライアンスの推進体制

シーレックスでは2005年4月にCSR推進室を設置し、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と教育を行っております。



●コンプライアンス推進体制

## コンプライアンスの推進

企業が社会的責任を果たすためには、社員一人ひとりが法令遵守と企業倫理を徹底することが必要です。

## コンプライアンスブックの作成と啓蒙

2004年に「新・創業宣言」、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」を制定しました。これらを確実に実践していくために、シーレックスグループで働く全員が、知らなくてはいけない、そして絶対守らなければならない、主要な法令を中心にした「コンプライアンス(法令遵守)ブック」を作成し、周知徹底を図りました。

法令・規制をきちんと守る(コンプライアンス(法令遵守))

現行の法令、規則に定めていなくても、先進的な情報等を取り入れて自主的な取り組みを行う(企業倫理)

社会貢献等、企業市民として地域社会、従業員に対するプラスの取り組みを行う



コンプライアンス(法令遵守)ブック

## 企業倫理相談窓口の設置

シーレックスでは2006年7月に「シーレックス株式会社 企業倫理相談窓口設置規程」を制定し、内部通報制度を開設し、運営を継続しています。通報を受け付ける窓口を「CSR推進室室長」、社員だけではなく、パート・アルバイト・派遣及び関連会社の従業員ならびに取引事業者の従業員が利用できます。

万が一、法令・社会規範・会社規程(ルール)・シーレックスグループ倫理綱領に違反する行為を発見した場合、速やかに上司、若しくは企業倫理相談窓口につながる仕組で構成され2006年4月施行の「公益通報者保護法」に準拠しています。



企業倫理相談窓口ポスター

## 公正な外注取引への取組

### 下請法の遵守

お客様の多様なニーズに応えるために、当社は数多くの協力事業者によりご支援をいただいています。

公正な外注取引の実現に向けて、特に下請法の遵守については、個々の外注取引を管理する窓口部門に対して、教育および情報提供を実施しております。

### 危機管理体制の整備

シーレックスでは内包する「リスク」について、CSR推進室・IPC推進室が中心となり調査、分析を行い「リスク」に対するマネジメント体制の構築を進めています。

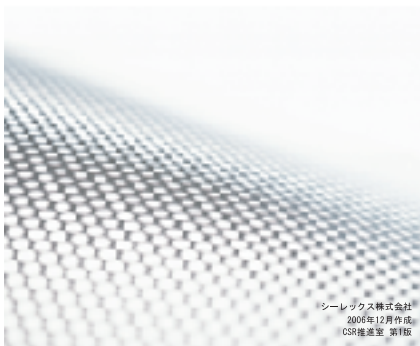
今年度は基幹工場で緊急事態（自然災害、人為的災害で重大な被害が発生した時）が発生した時に人命の安全を最優先し二次災害の防止、得意先への製品供給等をいかにして行うかの手段、方法の検討、「シーレックス 事業継続計画」を制定しました。

2007年度はこの事業継続計画の更なる充実と事業継続計画に基づいた「初動対応フロー」の確認を行ってまいります。



リスク管理「事業継続管理」

### 事業継続計画 BCP (Business Continuity Plan)



### シーレックス事業継続計画

#### 目次

#### 1.前文 事業継続計画策定にあたり

#### 第1章

- 1.目的
- 2.準拠法令
- 3.適用範囲
- 4.主管課
- 5.定義

#### 第2章(基本方針)

- 1.基本方針
- 2.リスクの予見・発生時の行動と心得

#### 第3章(組織)

- 1.災害対策本部
- 2.防災対策班
- 3.災害対策本部の設置および解散
- 4.本社及びグループ企業・関連企業との連携体制
- 5.災害対策本部及び防災組織
- 6.危機レベル
- 7.危機レベル・状況別原則緊急行動基準
- 8.緊急配備体制
- 9.災害対策本部の時系列別所掌・チェック表

#### 第4章(事前対策)

- 1.設備・施設・システムの安全対策
- 2.防災・危機管理訓練
- 3.防災・危機管理教育、意識啓発
- 4.防災資材機材の整備・点検
- 5.災害対策本部用資材の整備・点検
- 6.社員等の住所録等の備え付け
- 7.リスク保険
- 8.従業員等の家庭における防災対策

#### 第5章(緊急対応)

- 1.緊急参集
- 2.緊急配備体制
- 3.緊急配備体制の解除
- 4.緊急参集時・防災対策活動留意事項
- 5.緊急連絡網及び安否確認
- 6.二次災害防止、災害防備活動
- 7.記録・報告

#### 第6章(緊急社会貢献、復旧・復興)

- 1.緊急社会貢献
- 2.復興・復旧

#### 資料編

- 1.機種別・商品別、代替対応先検討
- 2.協力会社一覧
- 3.主な材料メーカー工場
- 4.各事業所別緊急連絡網
- 5.事業所別機械故障時の緊急連絡先
- 6.地震・風水害・火災別の初動対応フロー
- 7.シーレックスサバイバルカード
- 8.備蓄資機材配備一覧表
- 9.非常時参集計画表
- 10.安全行動基本指針
- 11.本社等・緊急報告書
- 12.災害応急対策本部より、指示・連絡・要請書